

2009 年度人文社会科学研究所活動報告（概要）

2009 年度共同研究

研究課題：「近代の地方都市の比較研究」

共同研究者：割田 聖史（准教授）

小羽田誠治（准教授）

第 18 回公開講演会（シンポジウム）

日時：2009 年 10 月 31 日（土）13:00～16:00

場所：仙台市青年文化センター（エッグホール）

テーマ：アメリカ発金融危機と日本経済

報告者：座長 黒滝 正昭（教授・経済学博士、社会思想史）

報告 田中 史郎（教授・経済学博士、日本経済論）

討論 徳永 重良（元本学教授・東北大学名誉教授・経済学博士、社会政策論）

討論 姚 国利（教授・経済学博士、国際経済論）

第一回研究会

日時：2009 年 6 月 11 日（木）17:10～18:40

報告者とテーマ：黒滝 正昭（教授）

「ルードルフ・ヒルファーディングの第二次世界大戦
終戦および戦後体制に関する見解（1940 年 1 月）」

第二回研究会

日時：2009 年 7 月 16 日（木）17:10～18:10

報告者とテーマ：朴 ^{バク} 一美 ^{ヒトミ}（本学非常勤講師）

「韓国人日本語学習者の学習ストラテジーと日本語能力の関係」

第三回研究会

日時：2009 年 12 月 22 日（火）17:10～18:40

報告者とテーマ：越門 勝彦（准教授）

「認知的反省から実践的反省へ

—哲学史における反省概念の変遷と現代的意義—

第四回研究会

日時：2010 年 1 月 21 日（木）17:10～18:40

報告者とテーマ：小羽田誠治（准教授）

「南京博覧会はなぜ開催されたのか

—清末新政理解の一助として—